

ゆめ・まち・みらい vol.42

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」グループ従業員向け情報誌 [2019年夏号(年4回発行)]



ぜひご家庭でも
お読みください

ソーシャル・ピープル・インタビュー

一步踏み出す 勇気からはじまる

アーティスト 倉木 麻衣さん



- 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート
- ソーシャルトレンド キーワード
みんなでSDGs
- グループ従業員の
ボランティア活動レポート

ソーシャルグッズ
読者プレゼント

詳しくは
裏表紙へ

阪急阪神ホールディングスグループ

こちら事務局

皆さまの募金を市民団体にお届けしました! 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」2018年度収支報告

基金設立から10年目となる2018年度は、阪急阪神沿線の市民団体18団体に、総額589万5千円の助成金(阪急阪神ホールディングスからの同額上乘せを合わせて1,179万円)をお届けしました。皆さまの募金が増えれば、多くの市民団体に助成できますので、今後とも協力お願いいたします!

2018年度 収支報告 (2018年4月1日~2019年3月31日)	
2017年度末残高	3,547,580円
収入総額	5,405,856円
支出総額	5,895,000円
2018年度末残高	3,058,436円

info



● 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金とは ●

グループ従業員から寄付を募り、会社とともに、地域の市民団体を応援する制度です。1口89円からご参加いただけます。皆さまのご参加お待ちしております! 詳しくは、プロジェクトHPの従業員向け申請書ダウンロードページをご覧ください。

阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボのトークイベントご紹介! ~バンじい・カレー男直伝!~ ゆめ・まちセカンドライフ

定年後の男性が引きこもりがちであることや地域社会との接点が不足しがちであるという現状の解決をめざし、「定年後もいきいきと過ごしたい」そんな思いを持ったシニア男性達が、プロの料理人から料理を学び、家族や地域のために活躍する取組みを紹介するトークイベントを開催します。彼らの活動の様子やエピソードなど、試食をしながら聞いてみませんか?



開催日時: 8月24日(土)

- ① 13:00-15:00
(パンにまつわる取組み)
- ② 16:00-18:00
(カレーにまつわる取組み)

開催会場: 阪急西宮ガーデンズ本館5Fスタジモにのみや
(兵庫県西宮市高松町14番2号) <http://stajimo.jp/>

対象: ソーシャルな活動に関心がある方、定年後に新たな活動を始めたい方など

定員: 各回20名(20歳以上※こども同伴不可・先着順)

申込方法: 専用申込フォームにて http://stajimo.jp/?page_id=8674

費用: 無料(試食付き)

企画協力: デザイン・クリエイティブセンター神戸

● 阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボとは ●



「未来にわたり住みたいまち」をつくりたい!そんな想いを同じくするグループ会社や市民団体などと協働して、グループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」が進める、お客さま参加型の新たな共創創造の取組み。ワークショップや展示などを通して、さまざまな「つながり」を発見し、社会課題の解決に向けた種をまく場となることをめざします。

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp

TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

URL: <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



ソーシャルグッズ
読者プレゼント



4名様に
プレゼント

レインドロップポーチ



SDGsについては
P.5にも掲載!
チェックしてみてください。

オシャレなフェアトレード商品

バングラデシュのフェアトレード・グループがつくった、大胆なレインドロップ柄のポーチ。コットン製で、ブラックとピンクの2色展開です。プリントの柄と同じ色のポリウレミーなタッセルが付いていて、かわいさと遊びゴコロのあるデザインが人気。(サイズ/タテ13cm×ヨコ最大18cm×マチ7cm)

[この商品につながるSDGs]



価格/1,836円(税込) 販売/ピープルツリーURL (Webshop) / <http://www.peopletree.co.jp/> ※色は選べません。

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「ポーチプレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切: 2019年8月31日(土)

編集後記

今回の取材で、倉木さんにご自身の社会貢献活動や想いを伺い、とても感動しました。また、倉木さんの丁寧な話し方も印象的でした。私も何事も一歩踏み出す勇気を持って挑戦していきたいと思えます。(中野恵里香)



今回のソーシャルラボでは、シニア男性にフォーカスを当てた取組みを紹介します。“食”を通して、「セカンドライフ」の過ごし方やその想いについて知っていただけるイベントです!ぜひご参加ください! (水口琴音)



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは

「未来にわたり住みたいまち」づくりをめざし、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献活動の推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組み当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索

series 101

六甲山の魅力再発見! 気軽に行ける都市山



助成金は、「まちっ子の森」の整備や、新たな担い手の募集など、場の活性化のために使われる。

六甲山を活用する会 **事業助成**

TEL: 078-856-4756
URL: <https://www.rokkosan-katsuyo.com/>
事務所: 神戸市
事業実施場所: 神戸市他

六甲山は、市街地から車でわずか30分ほどの距離にあり、「都市山」として山麓の人々には昔からとても身近な存在。しかし、近年は山に上がる山麓市民や山上の住民減少、山道の補修や整備も大きな課題になっている。

せっかくの恵まれた環境を、もっと気軽に安全に自然体験ができる場所にしようと尽力しているのが「六甲山を活用する会」だ。10年以上の年月をかけて雑木林を整備した『まちっ子の森』では、年4回、四季折々の魅力にふれる「パークレンジャー」

や、毎月定例の自然体験プログラム「まちっ子の森デー」など、家族と共に訪れた子ども達が六甲山を存分に楽しめるイベントが、年間を通して開催されている。

都会で子育てする親の多くが、「もっと子どもを自然に触れさせたい」と感じていると言われるなか、団体の活動は、地域の人達が六甲山の魅力を再発見し、体感し、楽しめる良い機会となっている。山の「使い手」、整備活動の「担い手」を育てながら六甲山の自然環境を守る取組みはこれからも続いていく。

series 102

わが街のシンボル“たてじま”の アートで地域を盛り上げる!

「甲子園」と言えばプロ野球や高校野球の試合に多くのファンが詰めかけ賑わう場所。しかし、球場からわずか200メートルほど離れた新甲子園商店街は、店主の高齢化や近隣の大型物販店の影響による売り上げ減少で、活気を失っているという。

「地域や人を元気にしたい!」…そんな思いで商店街の人々や地元高校生などが力を合わせて取り組むのが、『たてじまアートプロジェクト』。小学校や幼稚園の子ども達から公募した絵に高校生が、阪神タイガースのシンボルである「たてじま」でペイント。子どもならではの自由な発想と高校生の感性を融合させて、ユニークなアートボードに仕上げ、商店街に飾ることで、たくさんの人に来てもらおうという仕掛けだ。

年を重ねるごとに商店街の人気イベントとして定着し、10年目を迎えた2018年には地元の祭りと同様開催されるまでに拡張。今後も「アート」をキーワードに、地元住民とのつながりをさらに広げるべく、ワークショップの開催や伝統芸能の創作など、新たな挑戦にも着手している。



地域の人達も「人気投票」で参加。選ばれた作品は商店街で表彰される。

たてじまアートプロジェクト 実行委員会

団体助成

TEL: 078-856-6995
URL: <https://www.facebook.com/tatejimaart/>
事務所: 神戸市

series 99

必要なものは「愛情」と「環境」 もっと「里親制度」を知ってほしい

日本にはさまざまな事情で親と暮らせない子どもが約45,000人もいる。そんな子ども達を家庭に迎え入れ、養育する「里親制度」だが、日本では「里親」の数が不足していると言われている。子どもの成長過程においては、血はつながってなくても愛情を注いでくれる“誰か”が必要。しかしそんな当たり前のことがあまり認識されていない。

そこで、制度の認知度の向上や、里親のスキルアップを支援するのが「日本子ども支援協会」。受け入れた子どもの背景を知りたい、社会の理解や支援が得られない…などの里親の悩みをケアしているほか、里親同士の交流の場を設けたり、国内100か所以上の街で「全国一斉里親制度啓発キャンペーン」を実施したりと、子どもと里親との幸せなマッチングをサポートしている。

そういった子どもを減らすためには、親だけでなく、社会全体が受け皿になることが必要。ひとりでも多くの子ども達が愛情あふれる環境で成長することをめざし、活動を続けていく。



10月4日の里親の日には里親が必要な子どもと同じ数のハート型のチラシを配布しています。

NPO法人 日本子ども支援協会 **団体助成**

TEL: 06-6767-1130
URL: <https://npojcsa.com/index.html>
事務所: 大阪市

series 100

「水の路」でつながる 子どものための京都学



紙芝居などで楽しく学ぶ出張授業。疏水と人々の生活との関わりをわかりやすく伝える。

琵琶湖疏水アカデミー **団体助成**

E-mail: biwako@sosui.main.jp
URL: <http://sosui.main.jp/>
事務所: 京都市

琵琶湖の水を京都へ引くために明治時代に建設された「琵琶湖疏水」。京都の近代化の象徴とも言えるこの美しい人工運河は、これまで多くの人々が関わり、「水道水」としてだけでなく、時代に合わせてさまざまな役割を担ってきた。そんな「琵琶湖疏水」を語るには、幅広い分野の専門的な知識が必要だが、子ども達にわかりやすく伝えるものが少なかった。

「琵琶湖疏水について学ぶ子ども達へ質の高い資料を」と立

ち上がったのが「琵琶湖疏水アカデミー」。歴史・環境・地理・防災などさまざまな分野の専門家や地域の人々の協力を得ながら活動している。その歴史や役目を楽しくわかりやすく伝える出張授業はもちろん、現地取材やインタビューなどでもできるフィールドワークは、子ども達に大好評だ。

「水の路」でつながる、人と歴史。疏水はその価値や魅力の「学びの場」として、子ども達と地域の架け橋となっている。

グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが上限3万円を支援する「ゆめ・まち“ええこと”応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2019年度 vol.2

初申請の3団体をピックアップ!!

太田JFC/茨木市

阪急電鉄 近藤和人さん
家庭・地域との連携を密に、サッカーを通じて健全な児童育成を図ります。



いろいろな大会に参加することができ、みんなとても喜んでます。

向陽台スターキッズ/東京都・稲城市

阪急トラベルサポート 染矢英顕さん

子ども達の心身の育成と地域貢献を目的として活動する野球チームです。



支援金の活用で設備や道具が充実。感謝して練習に励んでいます。



NPO法人 日本の竹ファンクラブ/横浜市
阪急阪神エクスプレス 清木優美子さん

荒廃した竹林を整備し、竹の魅力や価値を伝えています。

管理者の高齢化などから荒れ放題になっている竹林の整備や、間伐した竹を再利用する取組みを行っています。伐採竹を使って灯籠を作り、竹林に灯をともし「竹灯籠まつり」の実施や、近隣の学校への竹とんぼや門松づくりの出前講座は、地域の方にもとても喜んでいただいています。また、竹は放っておくと40日で成長してしまうので、タケノコ掘りも重要な放置竹林対策。そのまま食べるだけでなく、近年はタケノコを食べやすい大きさにカットして、味を付けて乾燥させた、「竹するめ」にするなど、もっと皆さんに竹の魅力や価値を知ってもらえるよう尽力しています。



支援金で竹を切るのこぎりの替え刃を購入しました。



東Genkix(ヒガシ・ゲンキックス)/茨木市

阪急電鉄 佐々木孝治さん

キックベースボールの大会エントリー代などに使用しました。

西之町地車同好会/芦屋市

阪急阪神ホールディングス 天井規雄さん

支援金で購入した提灯を地車本体に設置しています。

大阪赤十字安全事業指導奉仕団/大阪市

中央電設 小西修一さん

救急法・水上安全法などを講習会を通じて伝えます。

神田ジュニアバレーボールクラブ/池田市

阪急阪神不動産 大熊勝さん

児童の技能習得・体力向上と、地域社会貢献に努めます。

紀見北ジュニアサッカークラブ/橋本市

阪急阪神ホテルズ 真田昌佳さん

自社グループの社会貢献活動に感謝と誇りを感じます。

小部少年団野球部/神戸市

阪急電鉄 山田謙介さん

消耗品であるボールを購入できて助かりました。



未来のために、一人ひとりができることを考えよう!

みんなで ESG ディー ジーズ SDGs

「SDGsは持続可能な社会の実現をめざし、世界が取り組む17の目標です。」

SDGsとは2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」。

17の目標で構成された持続可能な世界を実現するための、世界共通のゴールであり、2030年までの達成をめざしています。



「持続可能な社会のための身近なSDGsのご紹介」

TYPE 1	TYPE 2	TYPE 3	TYPE 4
<p>【ソファに寝たままでできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気を節約しよう。電気機器を電源タップに差し込んで、使っていない時は完全に電源を切ろう。もちろん、パソコンもね。 ● いいね!するだけでなく、シェアしよう。女性の権利や気候変動についてソーシャルメディアでおもしろい投稿を見つけたら、ネットワークの友達にシェアしよう。 ● 照明を消そう。テレビやコンピューターの画面は意外と明るいうから、必要ない時には照明を消しておこう。 	<p>【家にいてもできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすれば、埋立地を増やす必要がなくなる。 ● 窓やドアの隙間をふさいでエネルギー効率を高めよう。 ● エアコンの温度を、冬は低め、夏は高めに設定しよう。 ● 古い電気機器を使っていたら、省エネ型の機種や電球に取り替えよう。 	<p>【家の外でできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詰め替え可能なボトルやコーヒークップを使おう。無駄がなくなるし、コーヒESHOPで値引きしてもらえらることも! ● 買い物にはマイバッグを持参しよう。レジ袋は断って、いつもマイバッグを持ち歩くようにしましょう。 ● 使わないものは寄付しよう。地元の慈善団体はあなたが大事に使っていた衣服や本、家具に新しい命を吹き込んでくれるはず! 	<p>【職場でできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社内の冷暖房装置は省エネ型に! ● 通勤は自転車、徒歩または公共交通機関で。マイカーでの移動は人数が集まった時だけに! ● 若者の相談相手になろう。それは誰かをよりよい未来へと導くための、思いやりある、刺激的でパワフルな方法です。

出典:「持続可能な社会のためにナマケモノにもできるアクション・ガイド」国連広報センター https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/24082/

市民団体の活動参加のススメ

<p>File 31 「まなあそび」して、だるま寺観光大使に! 京都を知って、好きになる人を増やそう。</p> <p>どきょう 読経やお寺掃除など一休さんのような遊び体験とだるま寺のことを学べるプログラムを実施。さらに、学んだことを外国人観光客や地元の方に「伝える」ための練習も行います!</p> <p>日時: 9/7(土) 13:15~15:45 場所: 法輪寺(だるま寺) (京都市上京区下立売通天神道西入行衛町457) 参加費: 3,000円 参加方法: ホームページからお申し込みください。</p> <p>※9/29(日)にはだるま寺の手づくり市で、学んだことを「伝える」ことに挑戦できます! 詳しくはホームページをご覧ください。</p> <p>お問合せ先: まなあそび E-mail: rik91105@yahoo.co.jp URL: https://manaasobi.jimdo.com/</p> <p>※写真はイメージです</p>	<p>File 32 里山と都市を結ぶ体験交流施設 京北森林公園で「天体観測とナイトBBQ」</p> <p>閉園後の静寂の中で、BBQを楽しんだ後、天体望遠鏡で「月や惑星」を中心に観察。天気が良ければプラネタリウムのような満天の星空も見られます。手ぶらでご参加ください。</p> <p>日時: ①8/17(土)②9/7(土)③10/5(土)※雨天曇天中止 場所: 京都市京北森林公園(京都市右京区京北塔町愛宕谷25番地3) 参加費: 大人4,500円 小中学生3,000円 各先着50名 参加方法: 電話かメールにてお申し込みください。メールの場合は「代表者氏名・大人と小中学生の人数・電話番号」を必ず明記ください。※受付期間①8/1~8/14 ②8/20~9/4 ③9/18~10/2</p> <p>お問合せ先: 京都市京北森林公園(NPO法人 森守協力隊内) TEL: 075-853-0200 E-mail: keihokuforestpark2000@yahoo.co.jp URL: https://park.morimori.land/</p> <p>※写真はイメージです</p>
---	--

グループ各社が取り組むSDGs

持続可能な社会のために...グループ各社の多彩な活動もSDGsの目標実現へつながっています。

<p>■ 1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY (阪神電気鉄道・阪急電鉄)</p> <p>ビルの照明やネオンを消灯し、まちにキャンドルを灯し、環境や普段の暮らしを見つめ直すきっかけをつくります。</p>	<p>■ リネン再利用による洗濯代削減額からの寄付 (阪急阪神ホテルズ)</p> <p>連泊の際、ドアにかけていただく「グリーンカード」でリネン類を再利用し、削減された洗濯代の一部から寄付を行い、環境保全活動につなげています。</p>
<p>■ 環境保全型トイレの寄贈 (阪急交通社)</p> <p>おがくずを利用した環境保全型トイレを、世界遺産の屋久島や熊野古道などの観光地に寄贈し、自然保護につなげています。</p>	<p>■ 阪急ゆめ・まち わくわくWORK (阪急電鉄)</p> <p>キャリア教育をテーマに、沿線の子ども達の好奇心を喚起し、可能性を広げる出張授業を行っています。</p>

「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」運行中!

2019年5月より約1年間、SDGsの各目標をイメージしたラッピング列車を運行中です。デザインは初の阪急・阪神2社共通。車内にもSDGsに関する情報発信の場に。



特設ページ
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/sdgstrain/top.html>

